



ふれあい 放水路

1997
(平成9年)
第35号
2月



くにびきマラソン

二月十一日「第十六回くにびきマラソン大会」が開催され、約二千六百人のランナーが出雲の大地を力走しました。

二キロ、三キロ、五キロ、十キロ、ハーフマラソンの五コースがありますが、その中のハーフマラソンは出雲ドームをスタートし、国道四三二号を通って妙見橋を渡り、長浜神社のふもとで折り返します。

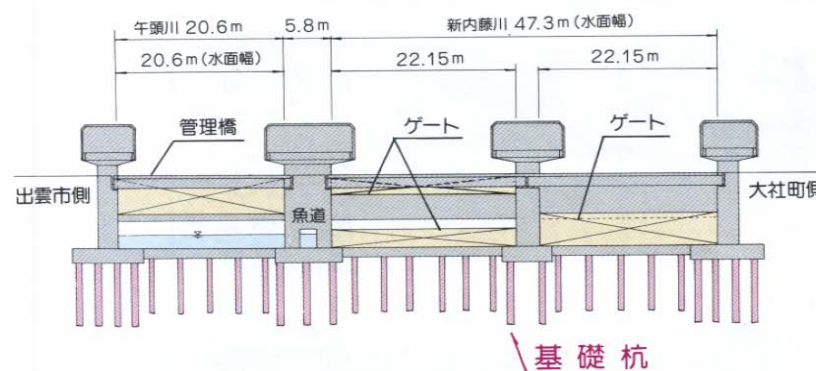
そもそもこの大会は、昭和五八年、翌年に迫る「くにびき国体」の成功を願って、長浜神社周辺をコースに地元の方々によって開催されたものです。第一回の参加者は約五百人でしたが、年々参加者が増えたため、現在の形になりました。

この日は強風が吹き荒れ、時折雪が舞う悪天候でしたが、参加者たちは、沿道の声援を受け、寒風を吹き飛ばす勢いでゴールを目指しました。また、目の不自由な方七人も参加され、伴走の方とともに完走されました。

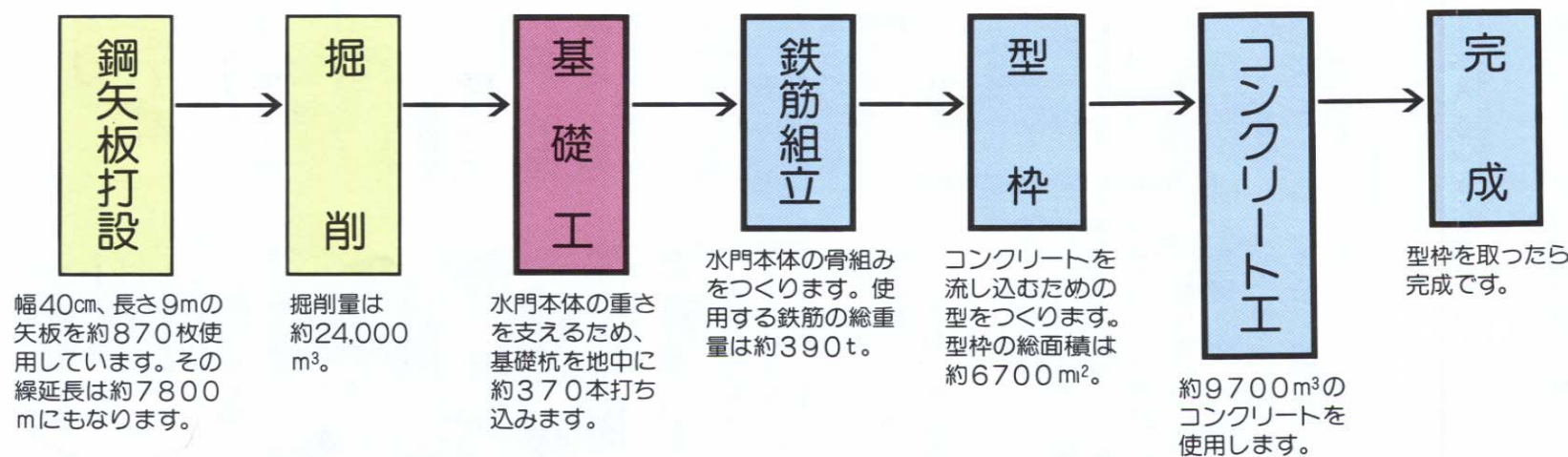
新内藤川水門基礎工事に着手！

新内藤川水門は、現在、水門の基礎工事を行っています。

水門の外周部（延長約346m）には、土が崩れないように鋼矢板を設置し、矢板の内側を現在の地盤高より約5m掘り下げています。現在、現場では大型杭打ち機を用いて、基礎杭を打ち込んでいます。



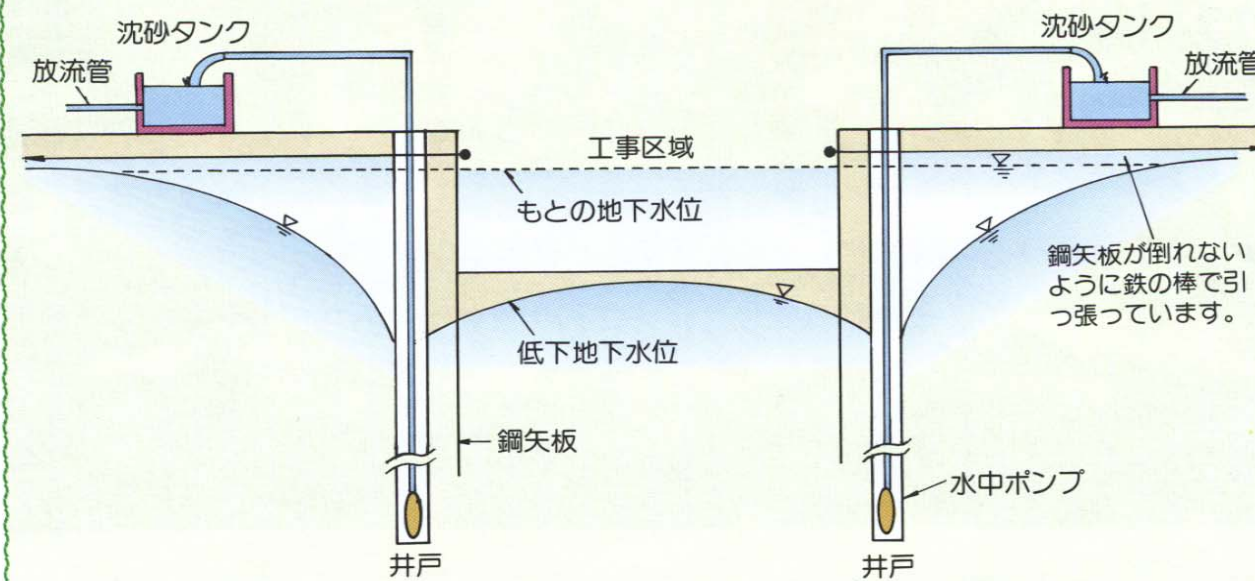
水門本体ができるまで



工事のツボ

新内藤川水門工事は、現地盤を地下水位よりも低い約5m下まで掘削して工事を行っています。そのため、工事区域の周りに井戸を20本も設置し、地下水を汲み上げながら工事を行っています。このような工事方法はディープウェル工法（深井戸工法）ともよばれ、地下水が豊富な場所の水位低下に適しています。

新内藤川水門の工事現場の一角は、地下40m近くまで砂地盤で形成され、地下水位が高いため、この工法を採用しました。



汲み上げた水は沈砂タンク及び沈砂池を通して、きれいな水を新内藤川に流しています。



地下水観測所

地下水位の変動に対して周辺の16箇所に地下水位観測所を設け、日々、水位観測し、水位変動を管理しています。

▼リバース工法による杭打状況



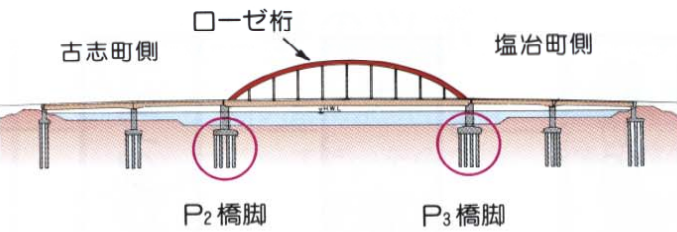
施工方法は昨年と同じくリバース工法（第一三三号参照）で、杭の長さ
はP₂が三九〇m、P₃が三
八・五mとなっております。



古志橋
P₂、P₃橋脚の
基礎工事

架け替え工事の進んでいる古志橋は、今年度、中央部分の橋脚（P₂、P₃）工事を行っています。一月十七日には工事の無事を祈って安全祈願祭を行い、現在は基礎工事の終盤にさしかかり、全部で六四本（橋脚一基あたり三二本）ある基礎杭のうち、六〇本（二月十九日現在）の杭ができています。

P₂、P₃橋脚は他の橋脚と違い、大きくて重い「ローゼ桁」を載せるため、サイズが大きくなり、基礎杭の本数も他の橋脚より多くなっています。



“天までとどけ!!” 凧上げ大会

ふれあい
とんど祭り

一月十九日、出雲市西園町崎屋地区の放水路事業予定地で「ふれあいとんど祭り」が開催されました。巨大なとんど飾りが二つ立ち並んだ会場では子供たちによる凧上げ大会も行われ、地元の方々や工事関係者など約三〇〇人の参加でにぎわいました。

宍道湖バードウォッチング

出雲工事事務所では、斐伊川水系を訪れる鳥たちの観察を通じて、河川環境の保全について理解を深めて頂くために、一月十九日、宍道湖グリーンパークにおいて、島根自然保護協会とホシザキグリーン財団の共催により「宍道湖バードウォッチング」を開催しました。



参加者の中には野鳥を観察するのが初めてという方もいらっしゃいましたが、美しい鳥たちの姿に触れ、野鳥観察の楽しさを十分に満喫して頂けたものと思います。

斐伊川放水路の工事实施状況



工事名	業者名	工期
下長浜道路工事	日発工業(株)	自 H8年12月25日 至 H9年3月31日
下長浜掘削工事	岩成工業(株)	自 H8年12月26日 至 H9年3月31日
山崎上橋下部工事	出雲土建(株)	自 H9年1月14日 至 H9年3月31日
下流部用地管理 その2工事	出雲土建(株)	自 H9年1月23日 至 H9年3月31日



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当